(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和2年 4月 1日

愛知県知事殿

提出者

住所 安城市横山町寺田 35番地4 氏名 ㈱ナルセコーポレーション 代表取締約 成瀬 日出登 電話番号 0566-76-2175

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

	1/20/C/0 C()CEE 0 & 7 (
事業場の名 称	株式会社 ナルセコーポレーション
事業場の所在 地	安城市横山町寺田 35 番地 4
計画期 間	令和2年4月1~令和3年3月31日
当該事業場において現に行	テっている事業に関する事項 ア
①事業の種 類	06 総合工事業
②事業の規 模	前年度の完工高: 25.0 億円
③従業員 数	40 人
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	土木、建築工事:がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石及び再
	生アスファルトとして再資源化 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して RPF 燃料
	たして再資源化 として再資源化
	木くず→再生業者に委託してチップとして再資源化
	金属くず→再生処理業者に売却、再資源化
	推進工事:汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社総務部 (事務担当者)

1

工事部(土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告)

下請会社(収集運搬及び処分)

産業廃棄物の分別に関する事項

産シ	業廃棄物の排出の抑制に	関する事項		
	1 現状	【前年度(平成 31 /	度)実績】	
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
		排出量	3290	59
		(これまでに実施し	た取組)	
		必要以上に撤去しな	٧٠°	
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
		排出 量	1500 t	50 t
		(今後実施する予定	の取組)	
		出来るかぎり工場制	作を行う。	
			工事内容)状況により大	きく変動する場合あ
		9。		

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類を分別保管してい
	る。
	汚泥は発生時に回収している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現状と同じ

(第2面) 2/6

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社総務部 (事務担当者)

1

工事部(土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告)

1

下請会社(収集運搬及び処分)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度(平成 31	年度)実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず		金属類	
	排出 量		103 t		3 t
	(これまでに実施し	た取組)			
	木くず→ 一般の方	に無料配布			
	金属類→ 特になし				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	木くず		金属類	
	排出 量		100 t		2 t

		(今後実施する予定の取組)
		木くず→ 一般の方に無料配布
		 金属類→ 特になし
		● 金属類→ 付になし
莊	 業廃棄物の分別に関する	車佰
	未完来がり力がに関する 	事 切
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管してい
		る。
		汚泥は発生時に回収している。
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
		() () () () () () () () () ()
		現状と同じ
	L	

(第2面)3/6

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社総務部 (事務担当者)

1

工事部(土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告)

1

下請会社(収集運搬及び処分)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度(平成 31	度)実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス. 陶磁器くず
	排出 量	16t	16

滋器くず 10 t
10 t
10 0
拿してい
∄ C (V ·
反組)

(第2面) 4/6

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社総務部 (事務担当者)

1

工事部(土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告)

1

下請会社(収集運搬及び処分)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

2 現状	【前年度(平成 31	年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	紙くず
	排出量	0 t	0 t
	(これまでに実施し	た取組)	
	特になし		
②計画	【目標】	ア始今去ぶれ を紹	紙くず
	産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	
	排出量	1 t	1 t
	(今後実施する予定		
	作業工程の短縮		
産業廃棄物の分別に関す	る事項		
①現状	(分別している産業	廃棄物の種類及び分別に	関する取組)
	廃プラスチック類、	木くず、金属くず、がれ	き類は分別保管してい
	る。		
	汚泥は発生時に回収	している。	
②計画	(今後分別する予定	の産業廃棄物の種類及び	分別に関する取組)
	現状と同じ		

(第2面)5/6

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社総務部 (事務担当者)

1

工事部(土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告)

1

下請会社(収集運搬及び処分)

産業		 関する事項		
	3 現状	【前年度(平成 31 ,	度)実績】	
		産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず
		排出 量	144 t	0.3 t
		(これまでに実施し	た取組)	
		特になし		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず
		排出 量	60 t	3 t
		(今後実施する予定	の取組)	
		作業工程の短縮		
اد ۱۰۰۰	とは女性 の ハロウェ HP トフ	*		
座 ショ	業廃棄物の分別に関する ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			問よって E5-401)
	①現状		廃棄物の種類及び分別に 木くず、金属くず、がれ	
		- ディンハッファ 源、 - る。		C MISONNIN E O CV
		汚泥は発生時に回収	している。	
	②計画	(今後分別する予定	の産業廃棄物の種類及び	分別に関する取組)
		現状と同じ		

(第2面)6/6

(管理体制図)

本社総務部 (事務担当者)

1

工事部 (土木部、建築部、住宅事業部の各部長が集計し総務部に報告)

1

下請会社(収集運搬及び処分)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	4 現状	【前年度(平成 31 /	度)実績】		
		産業廃棄物の種類	石綿含有混合物	アスベスト	
		排出 量	24 t		0 t
		(これまでに実施し	た取組)		
		特になし			
	9112	産業廃棄物の種類	石綿含有混合物	アスベスト	
		排出 量	20 t		0 t
		(今後実施する予定	の取組)		
		作業工程の短縮			
産業	業廃棄物の分別に関する 	事項			
	①現状	(分別している産業	廃棄物の種類及び分別に	関する取組)	

る。

汚泥は発生時に回収している。

廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類は分別保管してい

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現状と同じ

(第3面)

	ら行う産業廃棄物の 1 現状	【前年度(平成 31 度)実績】		
		産業廃棄物の種類		
		生 未 発来物の 性類		
		自ら再生利用を行った	t	t
		産業廃棄物の量		
		(これまでに実施した取組)		
		特に実施していない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う	t	t
		産業廃棄物の量		
		(今後実施する予定の取組)	1	
		中間処理については、委託処理に	より実施していく。	
自	 ら行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項		
	1 現状			
		【前年度(平成 31 度)実績】		
		【前年度(平成 31 度)実績】 産業廃棄物の種類		
			t	t
		産業廃棄物の種類	t	t
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した		
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)		
		産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)		
	②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)		
	②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特に実施していない		
	②計画	産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組) 特に実施していない		

		産業廃棄物の量			
		自ら中間処理により減量する	t	t	
		産業廃棄物の量			
	(今後実施する予定の取組)				
	中間処理については、委託処理により実施していく。				
(第 <i>4</i> 面) 1/6					

	(第4面) $1/6$				
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	1 現状	【前年度(平成 31 4	年度)実績】		
		産業廃棄物の種類			
		自ら埋立処分又は	t	t	
		海洋投入処分を行った			
		産業廃棄物の量			
		(これまでに実施し	 た取組)		
		特に行っていない。			
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		自ら埋立処分又は	t	t	
		海洋投入処分を行う			
		産業廃棄物の量			
		(今後実施する予定	の取組)		
		実施する予定はない。			
産シ 	業廃棄物の処理の委託に 「	I			
	1 現状	【前年度(平成 31 4	年度)実績】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	
		全処理委託量	3290 t	59 t	
		優良認定処理業者へ	t	t	
		Ø			
		処理委託 量			

再生利用業者へ	3290 t	59 t
0		
処理委託 量		
認定熱回収業者へ	t	t
の処理委託 量		
認定熱回収業者以外	t	t
の熱回収を行う業者		
への処理委託 量		
(これまでに実施し	た取組)	
可能な限り再生利用はかる。	業者への処理委託を行い	、最終処分量の低減を

(第4面) 2/6

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	1 現状	【前年度(平成 31)	実績】			
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は	t	t		
		海洋投入処分を行った				
		産業廃棄物の量				
		(これまでに実施した取組)				
	特に行っていない。					
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は	t	t		
		海洋投入処分を行う				
		産業廃棄物の量				
		(今後実施する予定)	の取組)			
		実施する予定はない。				
産乳	産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
	1 現状	【前年度(平成 31)	実績】			

産業廃棄物の種類	木くず	金属類
全処理委託 量	85 t	6 t
優良認定処理業者へ	t	t
0		
処理委託 量		
再生利用業者へ	85 t	6 t
0		
処理委託 量		
認定熱回収業者へ	t	t
の処理委託 量		
認定熱回収業者以外	t	t
の熱回収を行う業者		
への処理委託 量		
(これまでに実施し	 た取組)	
特になし		

(第4面) 3/6

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 現状	【前年度(平成 31 年度)実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は	t	t	
	海洋投入処分を行った			
	産業廃棄物の量			
	(これまでに実施した取組)			
	特に行っていない。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は	t	t	
	海洋投入処分を行う			
	産業廃棄物の量			

		→\		
	(今後実施する予定の取組)			
	実施する予定はない。	o		
 産業廃棄物の処理の委	 託に関する事項			
1 現状	【前年度(平成 31	年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス. 陶磁器くず	
	全処理委託 量	16 t	16 t	
	優良認定処理業者へ	t	t	
	\mathcal{O}			
	処理委託 量			
	再生利用業者へ	16 t	16 t	
	0			
	処理委託 量			
	認定熱回収業者へ	t	t	
	の処理委託 量			
	認定熱回収業者以外	t	t	
	の熱回収を行う業者			
	への処理委託 量			
	(これまでに実施し	 た取組)		
	特になし			

(第4面) 4/6

自自	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	2 現状	【前年度(平成 31 度)実績】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は	t	t		
		海洋投入処分を行った				
		産業廃棄物の量				
		(これまでに実施し	た取組)			
		特に行っていない。				

	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類			
		自ら埋立処分又は	t		t
		海洋投入処分を行う			
		産業廃棄物の量			
		(今後実施する予定	の取組)		
		実施する予定はない。	5		
産乳	業廃棄物の処理の委託に	I			
	2 現状	【前年度(平成 31)	度)実績】		
		産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	紙くず	
		全処理委託量	0 t	0	t
		優良認定処理業者へ	t		t
		0			
		処理委託 量			
		再生利用業者へ	0 t	0	t
		Ø			
		処理委託 量			
		認定熱回収業者へ	t		t
		の処理委託 量			
		認定熱回収業者以外	t		t
		の熱回収を行う業者			
		への処理委託 量			
		(これまでに実施し)	た取組)		
		特になし			

(第4面) 5/6

自自	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
	3	現状		【前年度(平成 31 年度)実績】		
				産業廃棄物の種類		
				自ら埋立処分又は	t	t
				海洋投入処分を行った		

		産業廃棄物の量				
		(これまでに実施し)	た取組)			
		特に行っていない。				
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類				
		自ら埋立処分又は	t			t
		海洋投入処分を行う				
		産業廃棄物の量				
		(今後実施する予定	の取組)			
		実施する予定はない。)			
産美	美廃棄物の処理の委託に	関する事項				
	3 現状	【前年度(平成 31 4	年度)実績】			
		 産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず		
		全処理委託 量	228 t		0	t
		優良認定処理業者へ	t			t
		Ø				
		処理委託 量				
		再生利用業者へ	228 t		0	t
		Ø				
		処理委託 量				
		認定熱回収業者へ	t			t
		の処理委託 量				
		認定熱回収業者以外	t			t
		の熱回収を行う業者				
		への処理委託 量				
		(これまでに実施し)	 た取組)			
		特になし				

自ら行う産業廃棄物の	埋立処分又は海洋投入処分	に関する事項				
4 現状	【前年度(平成 31	度) 実績】				
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は	t	t			
	海洋投入処分を行った					
	産業廃棄物の量					
	(これまでに実施し	た取組)				
	特に行っていない。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は	t	t			
	海洋投入処分を行う					
	産業廃棄物の量					
	(今後実施する予定の取組)					
	実施する予定はない	0				
産業廃棄物の処理の委						
4 現状	【前年度(平成 31	度)実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有混合物	アスベスト			
	全処理委託 量	10 t	1 t			
	優良認定処理業者へ	t	t			
	0					
	処理委託 量					
	再生利用業者へ	10 t	1 t			
	0					
	処理委託 量					
	認定熱回収業者へ	t	t			
	の処理委託 量					
	認定熱回収業者以外	t	t			
	の熱回収を行う業者					
	への処理委託 量					

(これまでに実施した取組)
特になし

(第5面) 1/6

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類	
	全処理委託 量	1500 t	50 t	
	優良認定処理業者への処	t	t	
	理委託 量			
	再生利用業者への	1500 t	50 t	
	処理委託 量			
	認定熱回収業者への	t	t	
	処理委託 量			
	認定熱回収業者以外の熱	t	t	
	回収を行う業者への処			
	理委託 量			
	(今後実施する予定の取組)			
	委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。 *公共工事の受注(工事内容)状況により大きく変動する場合あり。			
※事務処理欄				

【目標】		
産業廃棄物の種類	木くず	金属くず
全処理委託 量	40	t 2 t
優良認定処理業者への処		t t
理委託 量		
再生利用業者への	40	t 2t
処理委託 量		
認定熱回収業者への		t
処理委託 量		
認定熱回収業者以外の熱		t
回収を行う業者への処		
理委託 量		
(今後実施する予定	の取組)	
委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
*公共工事の受注(り。	工事内容) 状況により	大きく変動する場合あ
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への処理委託量 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (今後実施する予定 委託先処理業者には *公共工事の受注(産業廃棄物の種類 木くず 全処理委託量 40 優良認定処理業者への処理委託量 40 理委託量 40 処理委託量 30 処理委託量 30 処理委託量 30 処理委託量 30 処理委託量 30 処理委託量 30 必理委託量 30 必理委託量 40 必理委託量 30 ※次共工事の受託量 30 ※次共工事の受注(工事内容)状況により

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	ガラス. 陶磁器くず
	全処理委託量	10	t 10 t
	優良認定処理業者への処		t
	理委託 量		
	再生利用業者への	10	t 10 t
	処理委託 量		
	認定熱回収業者への		t
	処理委託 量		
	認定熱回収業者以外の熱		t
	回収を行う業者への処		
	理委託 量		
	(今後実施する予定	の取組)	
	委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。		
	*公共工事の受注(り。	工事内容)状況により	大きく変動する場合あ
NAC-TAG I TO SETT THE			
※事務処理欄			

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	石綿含有がれき類	紙くず
		全処理委託量	0	1t
		優良認定処理業者への処	t	t
		理委託 量		
		再生利用業者への	0	lt
		処理委託 量		
		認定熱回収業者への	t	t
		処理委託 量		
		認定熱回収業者以外の熱	t	t
		回収を行う業者への処		
		理委託 量		
		(今後実施する予定	の取組)	
		委託先処理業者には	定期的に実地確認を実施	する。
		*公共工事の受注(り。	工事内容)状況により大	きく変動する場合あ
※ !	事務処理欄			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	混合物	繊維くず	
	全処理委託量	60	t 1 t	
	優良認定処理業者への処		t t	
	理委託 量			
	再生利用業者への	60	t 1 t	
	処理委託 量			
	認定熱回収業者への		t	
	処理委託 量			
	認定熱回収業者以外の熱		t	
	回収を行う業者への処			
	理委託量			
	(今後実施する予定の取組)			
	委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。			
	*公共工事の受注(り。	工事内容) 状況により	大きく変動する場合あ	
※事務処理欄				

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種	類 石綿含有混合物	アスベスト		
	全処理委託量	10	t Ot		
	優良認定処理業者へ		t		
	理委託量				
	再生利用業者~	10	t Ot		
	処理委託 』	<u>.</u>			
	認定熱回収業者~	\O	t		
	処理委託 』	<u>.</u>			
	認定熱回収業者以外	の熱	t		
	回収を行う業者への)処			
	理委託量				
	(今後実施する	(今後実施する予定の取組)			
	委託先処理業者	委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。			
	*公共工事の受 り。	注(工事内容)状況により)大きく変動する場合あ		
※事務処理欄					